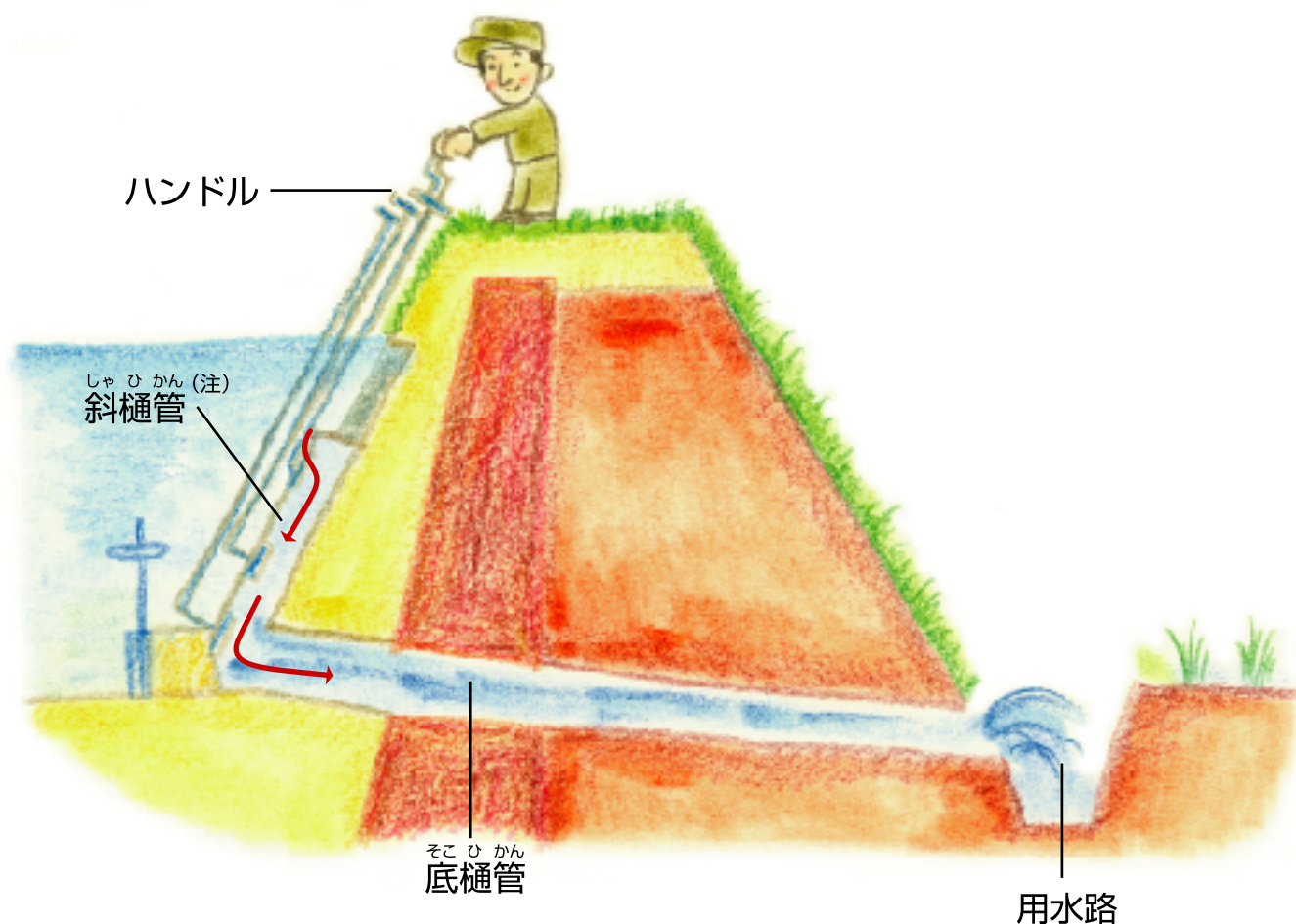


# 「ため池」の水は、 どのように流れるの？

ため池にたまった水は、<sup>しゃひかん</sup>斜樋管、<sup>そこひかん</sup>底樋管という管を<sup>くだ</sup>通って  
用水路に流れます。

堤防の上につけられたハンドルを回して上から順番に斜樋管  
の<sup>あな</sup>穴を開いて水を<sup>ぬ</sup>抜いていきます。



(注) 樋(ひ)

樋とは、水をみちびき送るくだに、とびらを開閉して水を出し入れする仕掛けをいいます。

(注) 斜樋(しゃひ)・斜樋管(しゃひかん)

ため池の堤防に取りつけられた、水を用水路にみちびき仕掛けのことをいいます。つまり、ため池からの水の出口になります。